



2018.8.20

個人投資家向け説明資料

小野建株式会社

証券コード 7414



- I. 当社概略、取扱い品種、鉄の使用例、福岡での納入実績**
- II. 商品の流れ、当社所有の物流センター
小野建の市場占有率**
- III. 事業戦略、小野建の戦略、財務諸表**
- IV. 2019年3月期の動向、中長期に向けての課題と取り組み**
- V. 2019年3月期の足元と今後、株主還元・株価指標について**

本資料および将来の見通しに関する注意事項

本資料は事業内容等に関する情報提供を目的としており、当社株式への投資を推奨するものではありません。また、資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

商号

小野建株式会社

設立

1949年8月

代表者

小野 建

資本金

40億6,230万円

連結売上高

2,031億5,100万円

従業員

664 人

上場取引所

東京①・福岡(7414)

本社

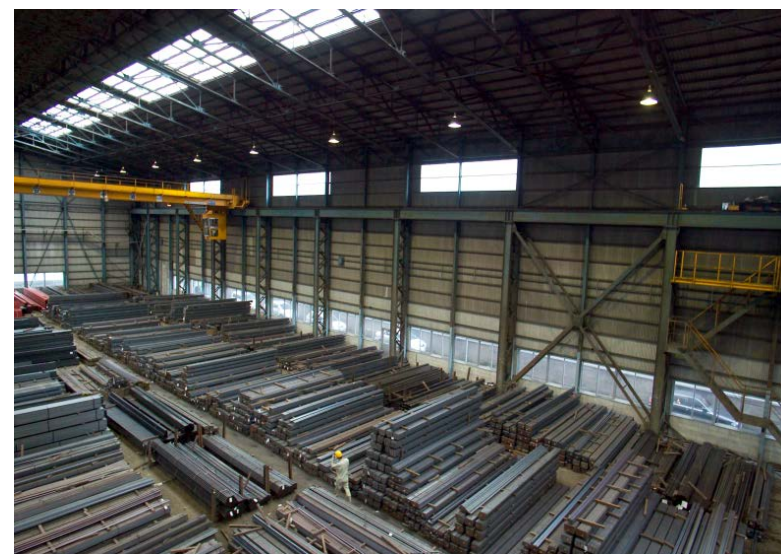
福岡県北九州市

業種

鉄鋼・建材流通商社



小野建株式会社 本社・小倉支店



小倉支店 倉庫内

営業拠点は全国に28ヶ所

北は青森県から
南は沖縄県まで

売上高395億円
(2018年3月期実績)

関東・東北
エリア

売上高485億円
(2018年3月期実績)

関西・中京
エリア

九州・中国
エリア

売上高1,150億円
(2018年3月期実績)

連結売上高2,031億円
(2018年3月期実績)

小野建の歩み

売上高
(百万円)

200,000

150,000

100,000

50,000

0

全国ブランドに挑戦

業界に先駆け
鉄鋼商品の輸入取扱い

2005年
東証一部に上場

2016年
本社を北九州市に移転

積極的な
店舗展開

1999年1月
株式上場 店頭登録

1995年
東京事務所
(現東京支店)開設

1983年
大阪営業所
(現大阪支店)開設

1949年
大分県大分市にて
(株)小野建材社設立

拠点数

上場後の2005年は拠点数12拠点
13年の間に拠点数は28拠点到拡大
これからも規模を拡大する予定

1949年

1983年

1995年

2005年

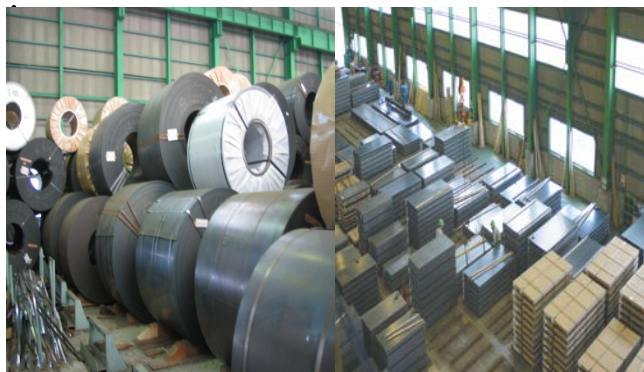
2018年3月期

取扱い品種

鉄鋼商品

鋼板

鉄を板状にしたもの
工事現場の敷板等に使われる



条鋼

型鋼とも呼ばれ、色々な形に
成形したもの
建物の骨組等に使われる



丸鋼

鉄を丸い棒状にしたもの
建物の基礎等に使われる



建機商品

建物を建てるのに
使用される材料
屋根・フェンス・サッシ
等がある
写真は溝の蓋に使用
するグレーチング



建機工事

鉄骨工事
屋根工事
外壁工事
サッシ工事など



鉄の使用例



建築工事現場1



建築工事現場2



産業・建設機械



造船



橋梁



プラント

福岡での納入実績



商品の流れ

従来の流れ

メーカー

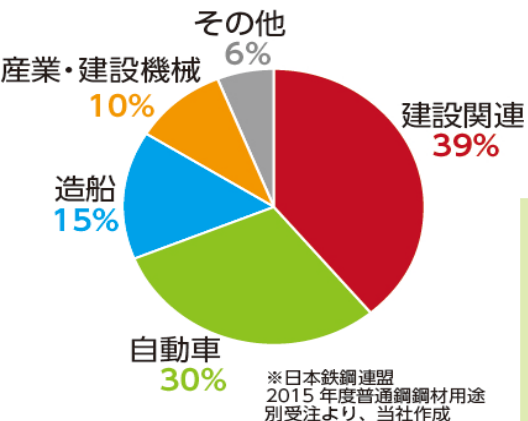
新日鐵住金・JFE・大阪製鐵・
共栄製鋼・東京製鐵

商社・流通商社

総合商社

専門商社

 小野建



新しい流れ

POSCO（韓国）
宝山鋼鉄（中国） 等主要国内外各社

 小野建

商 社

+

1 次加工
切断
穴あけ
曲げ

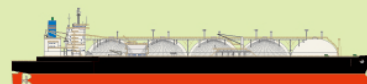
素材販売から加工品販売へ

ユーザー

建設関連



造船



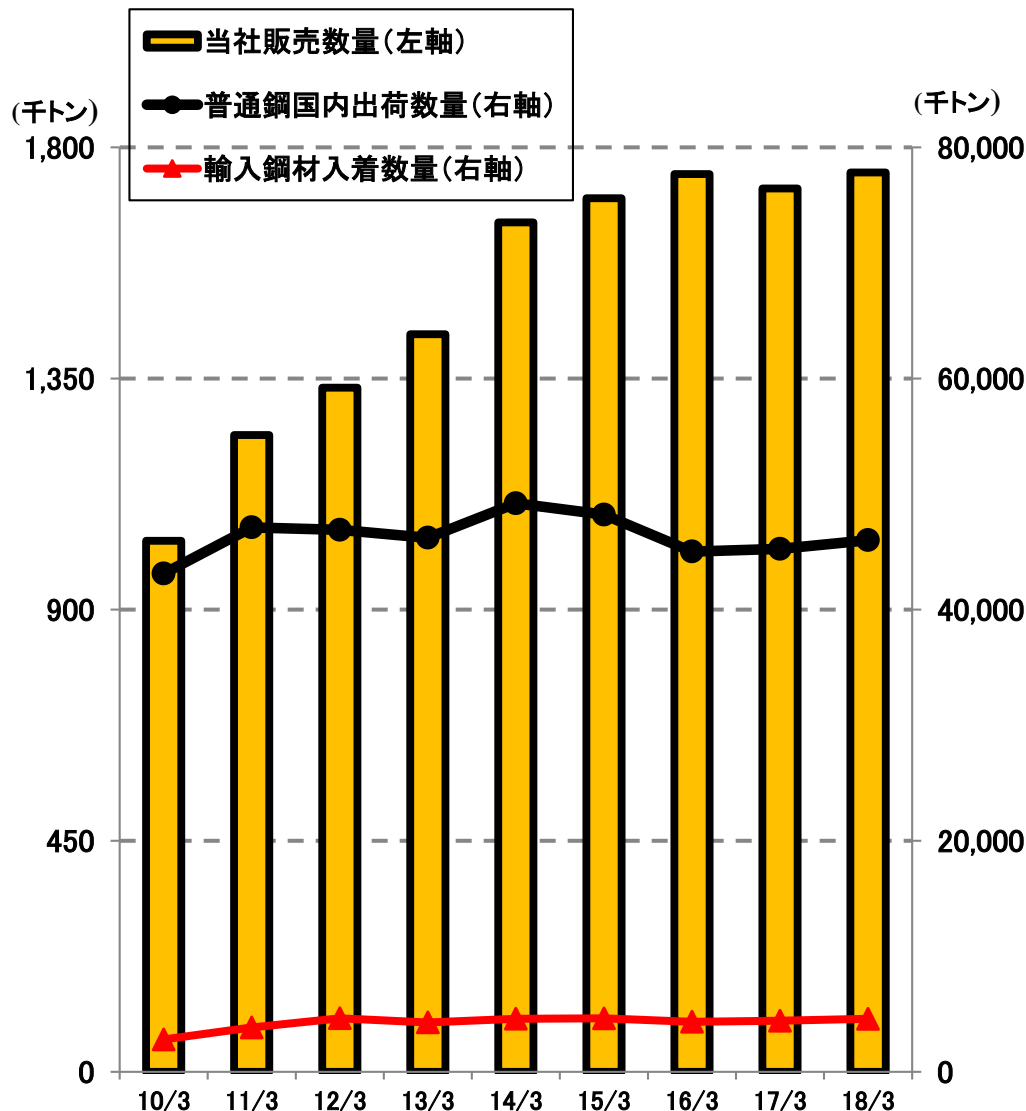
産業・建設機械



当社所有の物流センター



小野建の市場占有率



※日本鉄鋼連盟資料より当社作成

【市場との比較】

- 普通鋼国内出荷数量は、近年若干の減少傾向にある中、当社の販売数量は順調に増加
- 全国の特約店約700社の中でトップシェアながら現在3%程度
今後もエリアを拡大し、販売数量を伸ばす

市場は縮小していくことが予想されるが、

**小野建の強みを活かして
生き残りへ**

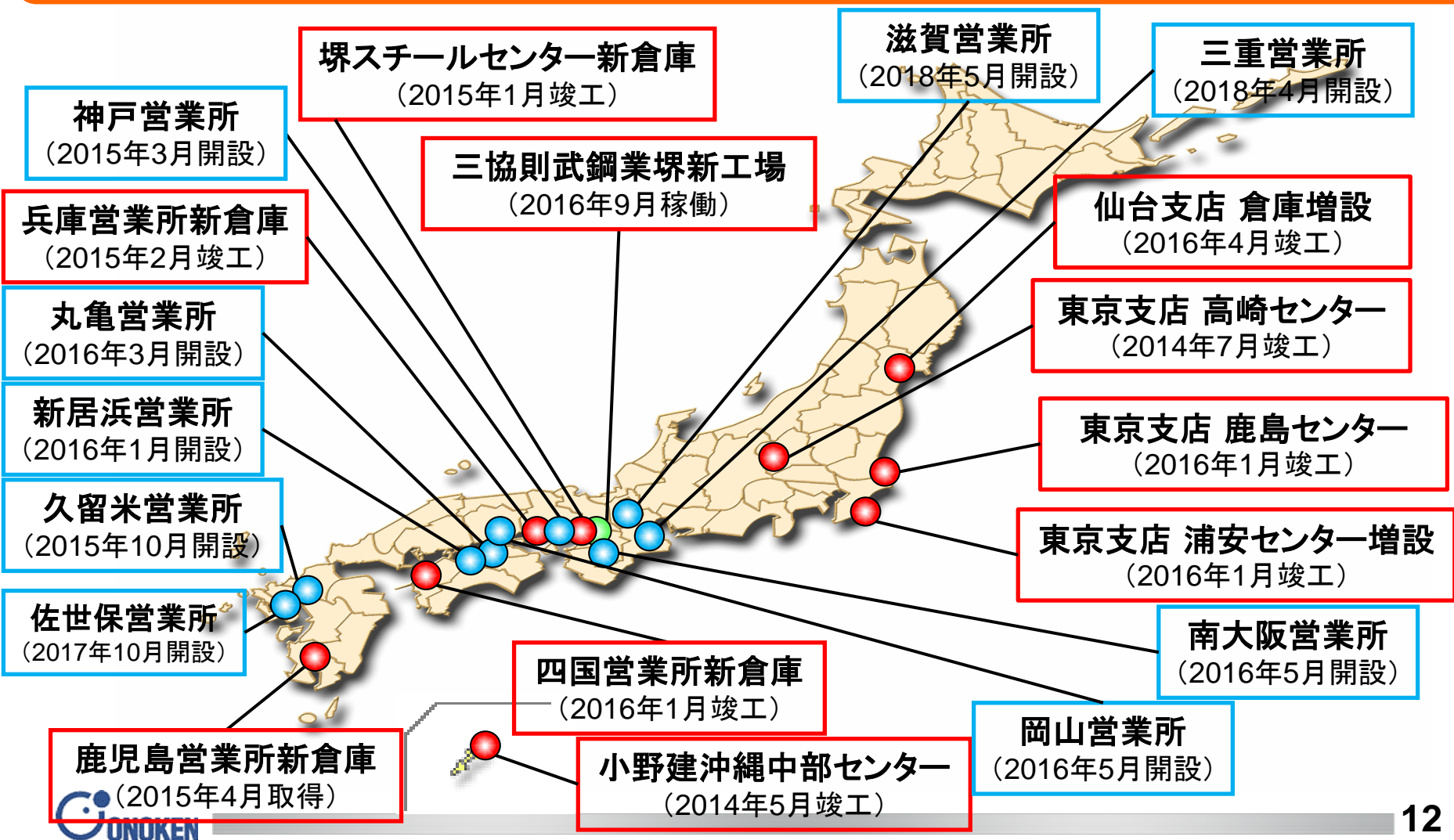
基本事業戦略

販売エリアの拡大とシェアの向上

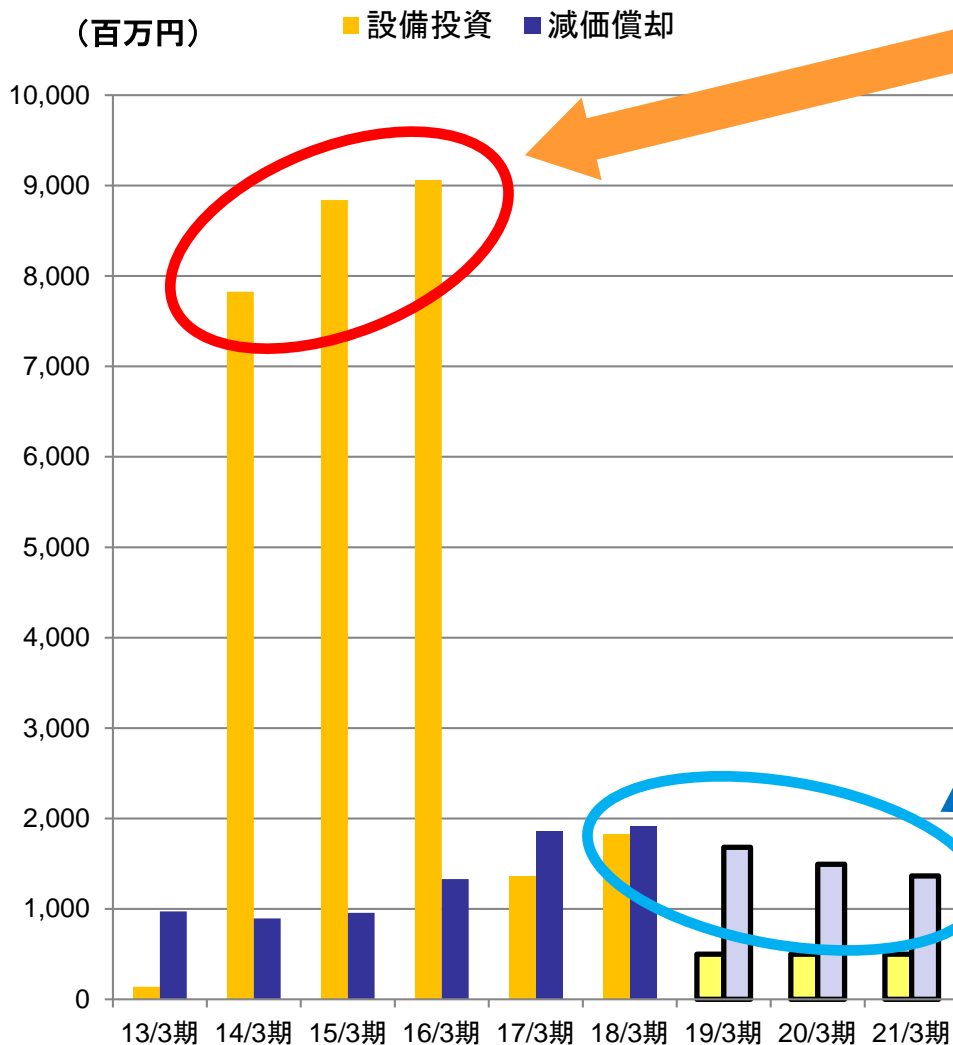
- 地域密着型の営業展開
 - － 各地それぞれのニーズに対応し、取扱い品種を変化させる
 - － 鉄鋼商品だけでなく工事を含む建材部門も含め多様な販売先を持つ
 - － ヤードの点在化により、需要地までの近距離化
 - － 小口需要に対応する在庫・配送体制の強化（自社小型トラック等の配置）
 - － 工事請負業務の拡大
- 物流センターを活用した多品種構成
 - － マーケットが縮小しているなか、鋼材のダム機能としての役割を拡充
 - － ユーザー直結の川下戦略を徹底し、販売先数を拡大
 - － 鉄鋼流通業界において、豊富な在庫を持って商売を行うことは大きな強み
 - － ヤード内に加工設備を充実し、付加価値の向上
- 国内外を問わない柔軟な仕入ソース
 - － 独立系であり販売力があることが国内メーカーとの関係強化に結実
 - － 30年来培った輸入鋼材活用のノウハウは大きな特長

小野建の戦略

中長期的に各地域に根差し、地域と共に発展できるグローバル企業を目指す



設備投資



今後10年を見つめて
3年間で約260億円の
設備投資を実施

↓
販売エリアの拡大

シェアの向上

今後も既存倉庫に加工設備
を充実させるなど、収益アッ
プの為の設備投資は継続

減価償却費は
18/3期をピークに
徐々に減少していく予定

↓
安定的な収益向上

損益計算書(連結)

18/3期は売上高・親会社株主帰属当期純利益は共に過去最高を更新

(百万円)

	16/3期 実績	17/3期 実績	18/3期 実績	前年比増減率	19/3期 通期計画	前年比増減率
売上高	189,677	176,360	203,151	+ 15.2 %	220,779	+ 8.7 %
売上原価	174,800	159,256	183,936	+ 15.5 %	201,324	+ 9.5 %
売上総利益	14,876	17,104	19,215	+ 12.3 %	19,455	+ 1.2 %
販売費及び一般管理費	10,584	11,711	12,235	+ 4.5 %	12,644	+ 3.3 %
営業利益	4,292	5,392	6,980	+ 29.5 %	6,811	△ 2.4 %
営業外収益	330	322	302	△ 6.2 %	211	△ 30.1 %
営業外費用	134	83	92	+ 10.8 %	78	△ 15.2 %
経常利益	4,488	5,630	7,190	+ 27.7 %	6,944	△ 3.4 %
特別利益	28	201	403	+ 100.5 %	—	—
特別損失	9	341	335	△ 1.8 %	—	—
税引前当期純利益	4,507	5,490	7,258	+ 32.2 %	6,944	△ 4.3 %
法人税・住民税及び事業税	1,203	1,671	2,232	+ 33.6 %	2,133	△ 4.4 %
親会社株主当期純利益	3,304	3,818	5,025	+ 31.6 %	4,811	△ 4.3 %

セグメント別業績推移(連結)

(百万円)

		16/3期 実績	17/3期 実績	18/3期 実績
九州・中国 エリア	売上	100,903	101,609	115,041
	利益	3,116	3,447	4,207
関西・中京 エリア	売上	48,827	40,597	48,571
	利益	401	773	1,337
関東・東北 エリア	売上	39,946	34,154	39,538
	利益	747	1,189	1,427

売上高は「外部顧客への売上高」を記載

貸借対照表(連結)

※主要項目のみ記載しております

(百万円)

	16/3 実績	17/3 実績	18/3 実績	増減	増減率
流動資産	76,200	80,287	95,745	+ 15,458	+ 19.3 %
現金及び預金	2,646	2,158	3,702	+ 1,544	+ 71.5 %
受取手形及び売掛金・電子記録債権	53,833	55,585	65,704	+ 10,119	+ 18.2 %
商品及び製品、原材料及び貯蔵品	15,412	14,671	19,394	+ 4,723	+ 32.2 %
固定資産	51,945	50,237	49,841	△ 396	△ 0.8 %
資産合計	128,146	130,525	145,587	+ 15,062	+ 11.5 %
流動負債	63,463	63,067	74,736	+ 11,669	+ 18.5 %
支払手形及び買掛金・電子記録債務	27,346	33,183	44,062	+ 10,879	+ 32.8 %
短期借入金	30,264	22,400	22,900	+ 500	+ 2.2 %
固定負債	63,463	7,644	5,969	△ 1,675	△ 21.9 %
社債	27,346	5,009	3,562	△ 1,447	△ 28.9 %
長期借入金	30,264	876	582	△ 294	△ 33.6 %
負債合計	71,353	70,712	80,706	+ 9,994	+ 14.1 %
株主資本	56,516	59,444	64,562	+ 5,118	+ 8.6 %
資本金	3,780	3,780	4,062	+ 282	+ 7.5 %
純資産合計	56,793	59,813	64,881	+ 5,068	+ 8.5 %
負債・純資産合計	128,146	130,525	145,587	+ 15,062	+ 11.5 %
自己資本比率	44.3 %	45.8 %	44.6 %		

2019年3月期の動向

● 鉄鋼市況の動向

- － メーカーの値上げ圧力は継続し、スクラップなどの原材料価格も上昇するなかで、鉄鋼市況は上昇基調となっている
- － 地域差はあるものの、需要は拡大しており、市況上昇を後押ししている
- － 中国など海外情勢により、原材料ならびに製品市況に影響を及ぼす恐れ

● 需要の動向

- － 地域差はあるものの、需要環境は概ね好調に推移しており、今後も増加見込み

主な需要用途

公共工事・・・災害復旧(土木、建築共)、橋梁補修補強、インフラ整備

民間工事・・・物流センター、大型ショッピングモール、ホテル、病院

その他・・・プラントの整備、産建機の需要拡大

● 業績動向

- － 増収減益になる理由として、鉄鋼市況が強含む中での在庫販売における利益率の低下があげられる

2019年3月期 第1Qの状況と今後の見通し

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
2019年3月期 第1四半期	51,880	1,059	1,104	735
2018年3月期 第1四半期	43,547	1,320	1,391	990

- 貸倒懸念債権の発生により貸倒引当金が6億2千万円増加したものの売上高は順調に対前年、対予算比ともに上回っており、中間・期末とも、業績予想の修正は行っていない
- 今後も、市況・需用ともに好調に推移する見込みで、受注状況も堅調に推移している

株主還元・株価指標について

着実な利益＝着実な配当

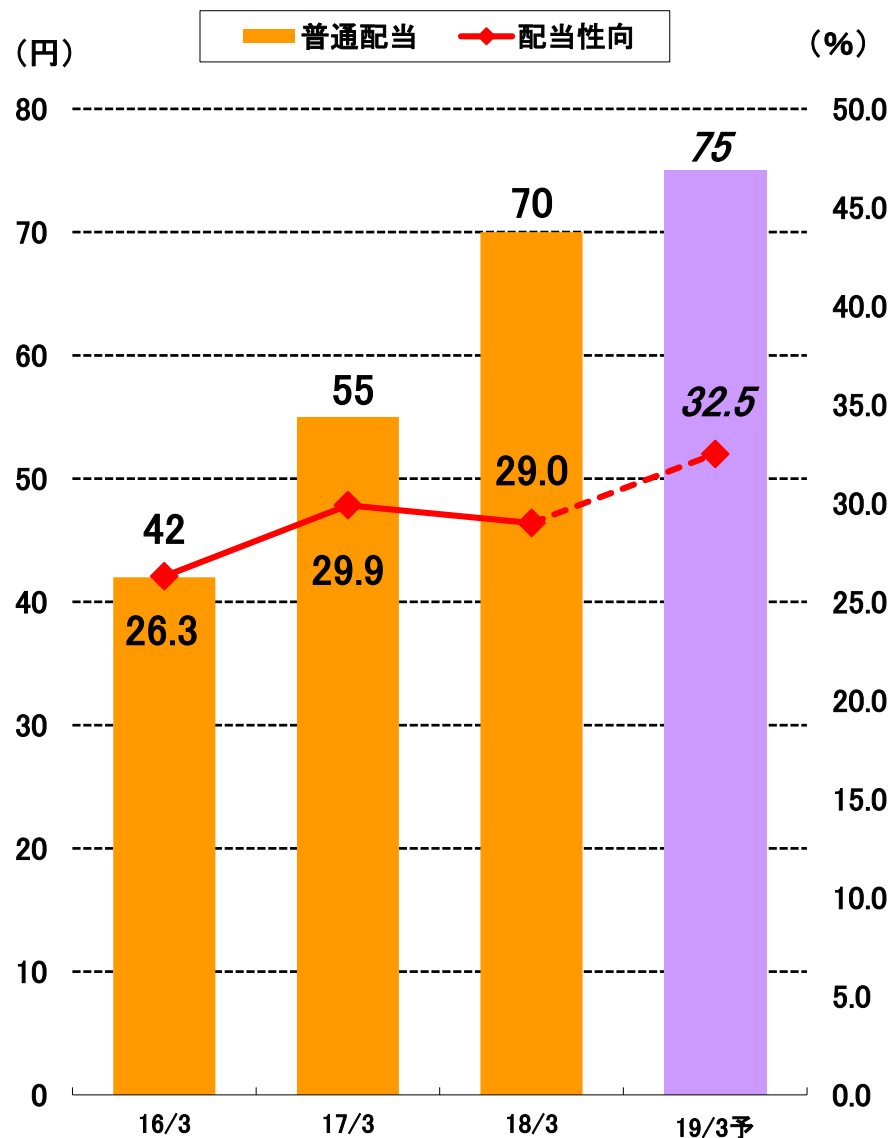
- 配当性向30%を原則に安定かつ高水準の利益還元を継続的に行う
- 中間配当制度を活用し、9月末日、3月末日の年2回、株主の皆様への配当を実施
- 70周年記念配当の実施
(中間5円・期末5円)

実績PBR(純資産倍率) → **0.59倍**

予想PER(株価収益率) → **7.97倍**

予想配当利回り → **4.22%**

※数値は株価 1,777円(8/17終値)をベースとして



memo
